

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社オリエントコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8585 URL <https://www.orico.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯盛 徹夫
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 松岡 英行 TEL 03-5877-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	58,905	0.7	5,049	△19.0	5,049	△19.0	3,958	△12.4
2020年3月期第1四半期	58,499	5.0	6,235	10.3	6,235	10.3	4,516	32.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,848百万円 (△11.0%) 2020年3月期第1四半期 4,323百万円 (56.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.26	2.26
2020年3月期第1四半期	2.56	2.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,592,682	249,256	4.5
2020年3月期	5,584,777	251,569	4.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 248,987百万円 2020年3月期 251,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	3.00	3.00
2021年3月期(予想)	0.00	3.00	3.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,600	△1.9	20,000	△18.2	20,000	△18.2	17,000	△17.7	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の1株当たり当期純利益は、その計算に必要な種類株式の配当額(優先配当額)が現時点で未定のため算出しておりません。優先配当額についての詳細は、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,718,494,703株	2020年3月期	1,718,494,703株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,404,782株	2020年3月期	1,404,782株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,717,089,921株	2020年3月期1Q	1,717,012,528株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2021年3月期1Q 1,381,900株、2020年3月期 1,381,900株)を含めております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当第1四半期決算補足説明資料は2020年7月31日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

第一回 I 種優先株式	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	28.76	28.76
2021年3月期(予想)	0.00	未定	未定

(注) 1. 第一回 I 種優先株式発行時の払込金額は1株当たり1,000円であります。

2. 第一回 I 種優先株式の2021年3月期(予想)の期末配当額は、優先配当額の算出に必要な2020年10月1日に全国銀行協会より公表される日本円6ヵ月物トーキョー・インター・バンク・オファード・レート(日本円TIBOR)が現時点で確定していないため、「未定」としております。当該レートが公表され、1株当たり優先配当額が確定した後に速やかにお知らせいたします。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府の緊急事態宣言の発令を受け、休業要請や外出自粛要請により、経済活動の停滞や個人消費の落ち込み等、極めて厳しい状況となりました。

先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動レベルの段階的な引き上げにより持ち直しに向かうことが期待されますが、国内外の感染症の動向等に注視が必要な状況です。

このような状況のなか、当社におきましては中期経営方針2年目にあたる当期は、「Innovation for Next Orico “新時代のオリコ”に向けた着実なる前進」を基本方針に掲げ、強固な収益体質の再構築と新たなビジネスモデルの創出に向け、6つの基本戦略（デジタルイノベーションの実践、プロセスイノベーションの実践、アジアへの事業展開の拡大、オリコグループのシナジー拡大、コンサルティング営業の強化、サステナビリティ取組み強化）を着実に進捗させてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりであります。

営業収益につきましては、前年同期比4億円増の589億円となりました。

■成長事業

カード・融資事業につきましては、カードショッピングでは緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛や商業施設の休業等による消費の低迷を受け、取扱高は前年同期を下回りました。なお、緊急事態宣言解除後の6月の取扱高は前年を上回る水準まで回復いたしました。また、カードショッピングリボ残高は前期末から減少しましたが、前年同期を上回る着地となりました。融資につきましては、外出自粛等による資金需要の低下を受け、融資残高は前年同期を下回りました。

決済・保証事業につきましては、売掛金決済保証の取扱いは減少となりましたが、家賃決済保証の取扱いが順調に増加したこと等により、取扱高は前年同期を上回りました。

■基幹事業

個品割賦事業につきましては、オートローンは、自動車市場の低迷による影響を受け、取扱高は前年同期を下回りました。なお、6月の取扱高は、消費の持ち直しに加え、新商品の導入により、前年同月に近い水準まで回復いたしました。ショッピングクレジットでは、ネット通販の取扱いは拡大したものの、住宅リフォームなどの取扱いが減少したこと等により、取扱高は前年同期比で減少となりました。

銀行保証事業につきましては、外出自粛等による資金需要の低下を受け、新規取扱いが減少したこと等により、保証残高は前年同期を下回りました。

営業費用につきましては、前年同期比15億円増の538億円となりました。

キャッシュレス・消費者還元事業に伴う一般経費の増加等により、営業費用全体では増加となりました。なお、貸倒関係費については、現時点において新型コロナウイルスの影響は限定的であります。今後の動向には引き続き注視してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、経常利益は前年同期比11億円減の50億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前年同期比5億円減の39億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の状況につきまして、資産合計は前連結会計年度の5兆5,847億円から79億円増加し、5兆5,926億円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債の状況につきまして、負債合計は前連結会計年度の5兆3,332億円から102億円増加し、5兆3,434億円となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパーが増加したことによるものであります。

また、純資産につきましては、前連結会計年度の2,515億円から23億円減少し、2,492億円となりました。これは主に、配当の実施により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月8日の決算発表時において未定としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響については引き続き最大限の注意を払う必要があるものの、一定の環境想定のもと、将来の見通しを合理的に算定可能と判断し、本日公表いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	210,280	393,516
受取手形及び売掛金	265	251
割賦売掛金	1,230,959	1,216,368
信用保証割賦売掛金	2,632,394	2,575,927
資産流動化受益債権	606,756	605,104
集金保証前渡金	563,996	566,217
販売用不動産	884	884
その他	182,554	88,022
貸倒引当金	△147,125	△152,913
流動資産合計	5,280,966	5,293,378
固定資産		
有形固定資産	94,705	94,232
無形固定資産		
のれん	1,853	1,791
その他	131,519	128,843
無形固定資産合計	133,372	130,634
投資その他の資産	75,060	73,811
固定資産合計	303,138	298,678
繰延資産	673	625
資産合計	5,584,777	5,592,682

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689,481	696,267
信用保証買掛金	2,632,394	2,575,927
短期借入金	67,140	89,324
1年内償還予定の社債	25,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	345,831	344,910
未払法人税等	1,872	2,259
賞与引当金	4,040	2,035
役員賞与引当金	71	90
ポイント引当金	2,564	3,862
割賦利益繰延	19,777	22,240
その他	489,817	552,500
流動負債合計	4,277,990	4,314,419
固定負債		
社債	190,000	190,000
長期借入金	826,481	802,211
債権流動化借入金	13,458	12,896
役員退職慰労引当金	24	26
役員株式給付引当金	162	188
ポイント引当金	3,758	3,633
利息返還損失引当金	13,733	12,753
退職給付に係る負債	1,914	1,814
その他	5,684	5,483
固定負債合計	1,055,217	1,029,006
負債合計	5,333,207	5,343,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,051	150,051
資本剰余金	904	904
利益剰余金	98,826	96,622
自己株式	△268	△268
株主資本合計	249,513	247,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	1,216
繰延ヘッジ損益	△143	△148
為替換算調整勘定	48	88
退職給付に係る調整累計額	492	520
その他の包括利益累計額合計	1,797	1,678
新株予約権	55	55
非支配株主持分	202	212
純資産合計	251,569	249,256
負債純資産合計	5,584,777	5,592,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益		
事業収益		
信販業収益	54,843	53,235
その他の事業収益	1,851	1,297
事業収益合計	56,694	54,532
金融収益	542	644
その他の営業収益	1,262	3,727
営業収益合計	58,499	58,905
営業費用		
販売費及び一般管理費	49,798	51,294
金融費用	2,405	2,418
その他の営業費用	60	142
営業費用合計	52,264	53,855
営業利益	6,235	5,049
経常利益	6,235	5,049
特別利益		
投資有価証券売却益	1	7
特別利益合計	1	7
特別損失		
有形固定資産売却損	40	—
有形固定資産除却損	—	16
ソフトウェア除却損	14	—
出資金評価損	—	59
特別損失合計	54	75
税金等調整前四半期純利益	6,182	4,980
法人税、住民税及び事業税	213	1,648
法人税等調整額	1,450	△627
法人税等合計	1,664	1,020
四半期純利益	4,518	3,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,516	3,958

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,518	3,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△184
繰延ヘッジ損益	△88	△5
為替換算調整勘定	11	49
退職給付に係る調整額	△91	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△194	△111
四半期包括利益	4,323	3,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,323	3,838
非支配株主に係る四半期包括利益	0	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症の影響について、当社グループでは2021年3月期の下期以降ゆるやかに経済活動が回復すると仮定し、将来の課税所得に関する予測を行い繰延税金資産の回収可能性の判断を行うとともに、貸倒引当金の見積りを行っております。当該仮定については、2020年3月期の財務諸表作成時より重要な変更を行っておりません。

なお、今後新型コロナウイルス感染症による経済環境への影響が変化した場合、繰延税金資産、貸倒引当金の増減等により、翌四半期以降の当社グループの財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。